

# 重点取組地域における尼崎版観光地域づくり戦略（概要版）

## 1. 戦略の位置付け

本戦略は、尼崎市の観光に係る基本的な考え方や方向性を示す「尼崎版観光地域づくり推進指針」をもとに、重点取組地域（尼崎城を含む城内地区及び寺町や中央・三和商店街周辺地域）の魅力と価値を向上させ、訪日外国人旅行者を含む市内外からの観光客を呼び込み、地域経済の活性化につなげる「観光による地域の稼ぐ力の向上」の実現に向け、観光地域づくりの取組を進めるにあたっての戦略を定めるものです。

なお、計画期間は2018年度（平成30年度）～2022年度（平成34年度）の5カ年とします。

## 2. 重点取組地域における観光地域づくりの取組方向



## 3. 重点取組地域における観光地域づくり戦略

### （1）コンセプト

# AMA+zing ジョー下町

- 観光地域づくりの取組を進めていくことで、地域に更なる「zing（元気、活気、熱意など）」を注入し、訪れた方々へ「amazing（驚き、素晴らしさ、感動など）」を与えられる城下町の形成を目指していきます。
- この「AMA」+「zing」＝「AMA+zing」という考え方を観光地域づくりのコンセプトに位置付け、尼崎城を中心とする様々な地域資源を繋ぎ・活用していくことで、歴史と未来を、そして尼崎と市外から訪れる人をつなぎ、まち全体にさらなる賑わいが広がっていく「観光地域づくり」を実現していきます。



### （2）ターゲット



## （3）観光地域づくり戦略

取組	拡大に向けた戦略
1. 観光情報の拡大に向けた戦略	戦略1-1. 各種メディアを活用した情報発信 戦略1-2. 観光客自身による魅力情報拡散の促進 戦略1-3. 外国人観光客に対応した情報環境の整備 戦略1-4. 国内外での効果的なプロモーション
2. 観光客数の拡大に向けた戦略	戦略2-1. 多様な地域資源の有効活用 戦略2-2. 発信力の高いコンテンツの拡充 戦略2-3. 尼崎ならではの体験プログラムの提供 戦略2-4. 外国人観光客に高感度な機能の拡充
3. 観光消費の拡大に向けた戦略	戦略3-1. 快適な周遊を促す基盤整備 戦略3-2. 楽しく周遊できる環境の創出 戦略3-3. 外国人観光客の消費機会の拡充 戦略3-4. 外国人観光客の周遊を促すサービスの拡充
4. 観光人材の拡大に向けた戦略	戦略4-1. おもてなしの意識・人材の拡充 戦略4-2. 魅力向上を支える新たな人材の発掘・育成 戦略4-3. 外国人観光客に対するおもてなし人材の育成 戦略4-4. 外国人観光客に対するおもてなし人材の育成（再掲）

## 4. 推進体制及び進捗管理指標

### （1）推進体制

観光地域づくりを推進していくにあたっては、一般社団法人あまがさき観光局を核として、事業者や団体、市など多様な主体が調整・連携しながらそれぞれの取組を進めていくことで、より効果的かつ効率的な取組に繋げていくこととします。



### （2）進捗管理指標

観光地域づくりの推進にあたっては、次に掲げる指標の到達状況で進捗状況を判断することとし、PDCAサイクルを回していくなかで必要に応じて取組内容の見直しを行いながら進捗管理を行っていきます。

	指標項目	活用データ等	現状	目標
アウトカム指標	重点取組地域の地価（地域内3箇所の平均額）	国土交通省地価公示及び都道府県地価調査	42.0万円/m <sup>2</sup> （H30年）	☑ 増加させる
	重点取組地域（土地）の固定資産税及び都市計画税額	尼崎市課税データ	4.89億円/年（H30年度）	☑ 増加させる
	重点取組地域の新規開業数	経済センサス等統計データ	34件/年（H28年度）	☑ 増加させる
	市のイメージが良くなったと感じる市民の割合	尼崎市市民意識調査	34.8%（H29年度）	☑ 増加させる
	市のイメージが良くなったと感じる来街者の割合	※新規調査	—	☑ 増加させる
	阪神尼崎駅の乗降客数	阪神電鉄株式会社公表データ	4.14万人/日（H29年度）	☑ 増加させる

	指標項目	活用データ等	現状	目標
アウトプット指標	観光ホームページの閲覧件数	閲覧実績	—	☑ 増加させる
	あまがさき free Wi-Fiのアクセス数	アクセス実績	—	☑ 増加させる
	あまがさき観光案内所（阪神尼崎駅）の利用者数	利用実績	—	☑ 増加させる
	市内の観光客入込客数	観光動態調査	227.6万人/年（H29年度）	280.0万人/年
	市内の宿泊者数	観光動態調査	44.0万人/年（H29年度）	50.0万人/年
	尼崎城入城者数	来城実績	—	15.0万人/年（有料10.5万人）

※平成30年度新設の観光ホームページ、あまがさき free Wi-Fi、観光案内所の利用者数は、当面は増加を目標とし、一定の実績を蓄積した時点で改めて目標値を設定します。